

早・大村両市選出の県議会議員、国土交通省九州地方整備局長にご出席いただきました。 成30年度新規事業化」に向けた決議を行いました。地元選出の国会議員の皆さまをはじめ、県知事や諫 500人を超える市民や関係者の参加があり、地元の熱い想いを発信するため、官民が一致団結し、「平 12月10日、「国道34号大村~諫早整備促進総決起大会」をさくらホールで開催しました。会場には

■都市計画課(内線431)



園田 裕史 国道34号大村·諫早間 整備促進期成会 会長

して、県内の社会、経済活動を支え 断する非常に重要な幹線道路と 域として、発展が期待されています。 の高速交通体系の中枢を占める地 九州ルート」が開業予定であり、本県 2022年度には、「九州新幹線西 長崎自動車道の諫早インターチェ 交通の要衝として発展しています ンジ、大村インターチェンジを有し 国道34号は、長崎県を南北に縦 諫早市、大村市は、長崎空港や

> が現れています。 早市・本野間のうち、本野入口が4 車線化され、渋滞緩和などの効果

も支障をきたしています。 は、朝夕の通勤時間帯には、渋滞が 慢性的に続き、沿線住民の生活に しかし、残る2車線区間約4㎞

られ、事業化まであと一歩のところ まで来ております。 採択時評価」に向けて準備が進め 計画素案が提出され、「新規事業 事業化に必要な「計画段階評 」が6月に終了し、8月には、都市

国に対し発信してまいりましょう。 皆さまとともに地元の熱い想いを 事業化を実現していただけるよう、 交流を支える「みちづくり」です。 日も早い国道34号大村・諫早間の 地域の活性化は「人」や「もの」の

る大動脈です。大村市・与崎から諫

県の大動脈の整備



中村 法道 長崎県知事

指した取り組みに全力を注いでま まと一体となって、新規事業化を目 ても、両市ならびに期成会の皆さ 備は不可欠なものであり、県とし の発展のためには、国道34号の整 な路線となっています。県央地域 生活を支えるうえで、極めて重要 市、諫早市を経て、長崎市に至る 本県の大動脈であり、快適な市民 国道34号は東彼杵町から大村

渋滞していました。道路を作るに 離島新法を作った際の財務省との 易ではありません。 は、地元から市、市から県、県から 通省だけでなく財務省とも折衝 続きが終わるので、国では国土交 国へ要望していくが、事業化は容 太いパイプを生かし、予算確保に しなければなりません。私は、国境 国道34号は、もうすぐ事務手 本日、ロードレース大会で道路が

4車線化は必要不可欠

生懸命がんばつてまいります。



加藤 寛治 衆議院議員

線化は必要不可欠です。私も全 速達性を向上させるために、4車 長崎医療センターへの、救急医療の 2車線区間は混雑が恒常化し、社 車線化され、渋滞緩和など一定の の主要幹線道路で、本野入口が4 力で取り組んでまいります。 会経済活動の支障となっています 効果が上がりました。しかし、残る 国道34号大村~諫早は、本県



谷川 弥一



古賀 友一郎 参議院議員



骨にあたる最重要幹線道路です。

国道34号は、長崎県にとって背

ある道路でもあります。慢性的な 小さい頃から親しんできた愛着の

分署は、長崎医療センターの敷地内

私が勤務する大村消防署久原

金子 宏樹 県央消防本部 大村消防署 久原分署 分署長

大会決議

な幹線道路整備をどう使いこな

九州ルート開業に向けて、このよう

2022年度の九州新幹線西

していくかということを、地域の皆

ければ、整備の効果は2倍にも3 さまを含めしっかり考えていただ

倍にもなると考えています

今後、整備局としても全力で取

り組むことを約束します。

一般国道34号は、佐賀県鳥栖市を起点とし東 彼杵町、大村市、諫早市を経て長崎市を結ぶ、長 崎県を南北に縦断する幹線道路であり、長崎県 内の主要都市相互間を連絡し、社会、経済、文化 活動に大きな役割を果たしている。

このうち、大村市の与崎から諫早市の本野間は、 本野入口交差点改良事業として、約600mが4車 線化され、渋滯緩和などの一定の効果が現れて いる。

しかしながら、残る2車線区間の約4kmは、一日 3万台にもおよぶ交通に対応できず、通勤時間帯 を中心に混雑が恒常化しており、交通事故が発生 した場合には、更なる渋滞が発生するなど、社会・ 経済活動への支障はもとより、沿線住民の生活環 境への影響等も懸念される。

このため、この2車線区間についても一日も早く4 車線化され、円滑な交通による住民の安全・安心 を確保するとともに、県央地域の交通ネットワークの 充実を図り、観光振興や産業振興など地域振興 につなげていくことが重要である。

長崎県の中央に位置し、県内の拠点都市を結 び、活力ある都市機能を支える国道34号大村・諫 早間の早期事業化を図るため、国におかれまして は次の事項において特段の配慮がなされるよう強 く要望する。

- 1.国道34号大村・諫早間の平成30年度新規事 業化
- 2.安定的・持続的道路整備に必要な財源の確保 以上、決議する。

平成29年12月10日 国道34号大村·諫早間整備促進期成会



ます の運用を、全国に先駆けて開始し 医師同乗救急自動車(EMTAC) リが出場できない事案に対応してい ました。県央管内全域でドクターへ や看護師と救急現場に出場する に設置され、昨年3月からは医師

けでなく、雲仙市、島原地域から、 国道34号は、大村・諫早両市だ

されることを強く望みます。

増田 博行 国土交通省九州地方整備局長

地域の声を整備促進の力に

ばつてまいります。

向け、皆さまと力を合わせてがん この4車線化の一日も早い完成に する一人です。地域の声を結集し、 する道路であり、皆さまとも共感 渋滞により、毎回ハラハラ、イライラ

> 出場する事案が発生し、一刻も早 数カ月前、諫早市内で救急車が

号大村・諫早間の拡幅が早期着工 がないよう、県央地域の住民の皆さ いと強く感じるようになりました。 命が奪われることがあってはならな り留めましたが、渋滞によって尊い 要してしまいました。幸い、一命を取 はかなりの減速。到着までに時間を による渋滞に巻き込まれ、救急車 1車線の道路で帰宅ラッシュと事故 で現場へ急行しました。しかし、片側 くケガをした人のもとへという思い まの安全・安心のためにも、国道34 救えるはずの命が、救えないこと

込むことは難しい状況です。

地区の命をつなぐ大動脈です。 を争う重要な交通網であり、県央 を目指す救急車にとって、1分1秒 長崎医療センターや大村市民病院

地元意見発表

おり、私たちタクシー業界にとって 道路として重要な役割を果たして 玉 道34号は、県内の主要幹線

> された道路整備が必要だと実感 のです。渋滯のない、定時性が確保

しています。

滞が頻繁に発生。所要時間を見 の発展、活性化に有効的です。 間の整備促進は諫早、大村、長崎 を越えていく場合も多く、この区 カーブや勾配もきついので、交通渋 間は、片側1車線で車線が狭く 港を利用し、本野地区から鈴田峠 す。特に、ビジネスや観光で長崎空 は、欠かすことのできない道路で 本野から与崎交差点までの区

人と物の流れ た道路へ

永尾 典嗣 諫早市タクシー 協会 副会長

り、乗客がイライラしたり、マイナス 込まれると運転手がせかされた 要時間も見込めず、渋滞に巻き

面が多いことは否めません。観光

素晴らしい思い出と一緒に帰ってい 地である長崎県に来たからには、

ただきたいし、また戻ってきてほしい

間はとても大切です。空港への所

ビジネスマンや観光客にとって時

この地域の観光や産業面で活性 と物の流れと命を守る国道3号 化へとつながると信じています。「人 保する道路整備は非常に重要で、 化をもたらし、さらに、県内の活性 たちにとっては、人と物の流れを確 整備の促進を願ってやみません。 道路を使って仕事をしている私